

令和 4 年 9 月 6 日

経済産業省 製造産業局 自動車課

ITS・自動走行推進室

自動走行ビジネス検討会／第 2 回安全性評価戦略 WG

議事要旨

■ 日 時： 令和 4 年 9 月 6 日（火） 10：00－12：00

■ 場 所： Web

■ 出席者：

（敬称略）

<参加者>

波多野 邦道	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 部会長
江川 健一	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 副部会長
古平 貴大	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 副部会長
佐藤 秀亮	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 AD 安全性評価分科会 分科会長
小澤 浩一郎	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 AD 安全性評価分科会 副分科会長
北原 栄一	（一社）日本自動車工業会 自動運転部会 AD 安全性評価分科会 副分科会長
伊藤 誠	筑波大学 システム情報系 教授
大前 学	慶応義塾大学 大学院 政策・メディア研究科 教授
河合 英直	（独）自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 自動車安全研究部 部長
近藤 忍	（株）デンソー 品質管理部 品質監査 2 室 機能安全課 課長
菅沼 賢治	（株）デンソー 技術開発推進部 国際標準推進室 東京技術渉外課 シニア アドバイザー
真野 宏之	（株）日立製作所 ライフ統括本部 デジタルフロント事業部 事業部長付
佐藤 崇之	日立 Astemo（株） パワートレイン＆セーフティシステム事業部 AD／ ADAS ビジネスユニット
南方 真人	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 SIP 自動運転 SPL

横山 利夫 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 RoAD to the L4 プロジェクト
コーディネーター

<事務局>

経済産業省、国土交通省、(一財)日本自動車研究所、(株)KPMG FAS

■ 議事次第

1. 開会
2. 自工会における安全性評価の取り組み状況
3. SAKURA プロジェクト進捗状況（案）－9月期報告－
4. SAKURA シナリオ DB の実用化の構想（案）
5. 閉会

■ 議事概要

1. 開会
 - 経済産業省及び国土交通省から、開会の挨拶が行われた。
2. 自工会における安全性評価の取り組み状況
 - 日本自動車工業会から、これまでの国際標準活動・シナリオ DB 検討課題の振り返り、安全論証 SWG の活動内容、一般道の Functional scenarios（案）について報告された。
3. SAKURA プロジェクト進捗状況（案）－9月期報告－
 - 日本自動車研究所から、22年度における実施項目ごとの進捗状況、今後の方針について報告された。
 - 22年度の SAKURA プロジェクトの実施項目については、主に①安全性評価基盤の構築、②交通外乱シナリオ DB の分析・検討、③国際協調・標準化活動について意見交換が行われた。
 - 今後の方針としては、①シナリオ DB の実用化に向けた取り組み（シナリオ公開/本線以外の自専道シナリオ実装/交差点右折シナリオにおける評価指標

の検討)、②シナリオ DB の付加価値向上に関する取り組み(シナリオ生成技術の検討/実車試験手法の検討)について報告があり、意見交換が行われた。

4. SAKURA シナリオ DB の実用化の構想(案)

- 日本自動車研究所から、目指す姿に向けた 22 年度のアプローチ、実用化に係るサービスラインナップ(案)、今後の方針について報告された。
- 目指す姿に向けた 22 年度のアプローチについては、提供価値の精緻化に向けたユーザニーズや海外動向の把握について、意見交換が行われた。
- 実用化に係るサービスラインナップ(案)については、①シナリオ DB による安全性評価条件提供、②シミュレーションツールの妥当性検証サポート、③ADS 安全性の証明資料作成サポートについて、意見交換が行われた。
- 今後の方針としては、①提供価値案の具体化、②開発・安全性に係る活動サポート、③シナリオ DB としての付加価値検討について報告があり、意見交換が行われた。

5. 閉会

■ お問い合わせ先

製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室

電話：03-3501-1618

MAIL：exl-itshann@meti.go.jp

以上